

市政報告



草加市議会議員

関

せき
かずゆき

一幸

<http://www.wan-happy.jp>

春の息吹きがあちらこちらに見られるようになりました。新入生や新社会人を見かけるとなんだかこちらまで気分が高揚する今日この頃です。

春は新たな門出の季節です。草加市も田中市長による市政が始まり実質最初の予算編成を迎えました。2月定例議会は3月19日に終わり、平成24

年度の予算案含め市長提出議案37件、請願1件が可決されました。平成24年度は「安心してくらせるまち」「健やかに成長できるまち」「つながりと活力あるまち」の三点を重点施策とし、様々な新規事業が展開されます。詳細については後段を参照していただければと思います。我々議員は、行政が市民の安心・安全な生活を考え、どのような事業を推進していくのかというのを市民の皆様によりわかりやすく、丁寧に説明する責任も仕事の一環であります。とりわけ、厳しい財政状況の中、少子高齢社会が進み、更には震災への不安など市民生活を脅かす様々な問題が懸念されている昨今、事業も「あれもこれも」から「あれかこれか」という判断を否応なく迫られています。私達議員一人一人の判断も的確かつ迅速さが求められており資質の向上を怠ることなく日々取り組んでまいります。この行政報告をご覧いただき、様々なご意見・ご提言をお寄せいただければ幸いです。今後も市民の皆様とのコミュニケーションを積極的に図りながら地域発展に尽力してまいりますのでご指導ご鞭撻を宜しく申し上げます。

皆様のご意見・ご要望をお聞かせください。

TEL: 048-923-1188 FAX: 048-927-8818

平成24年度予算について

★平成24年度一般会計予算 679億7千200万円
前年度比11.3%増市民生活を支える基盤の確立を目指して

◆平成24年度は、「安心してくらせるまちをつくる」・「健やかに成長できるまちをつくる」・「つながりと活力あるまちをつくる」の3点を重点施策として実施します。

安心してくらせるまち

- ◇心臓・脳血管センター開所
- ◇消防署谷塚ステーション開所
- ◇子ども急病夜間クリニック開所
- ◇医療・救急情報管理システム
- ◇小・中学校耐震化率100%達成
- ◇草加市地域防災計画の修正

↓ ↓ ↓ ↓ ↓

快適都市の基盤となる安全・安心のまちづくりを推進

健やかに成長できるまち

- ◇こども医療費無料化(H24.11～)
※通院分も中学3年生修了まで
- ◇保育園3歳児以上の主食提供・支援
- ◇栄小学校建設工事着手(～H25)
- ◇トイレ環境改善整備事業
- ◇子ども教育連携推進室を新設

↓ ↓ ↓ ↓ ↓

子育てするなら草加・教育を受けるなら草加といわれるまちを築く

つながりと活力あるまち

- ◇おしゃべり・買い物ボランティア
※H24.7～段階的に実施予定
- ◇スポーツ健康都市24推進事業
※スポーツによる健康づくりを推進
- ◇(仮)谷塚西文化センター建設工事
- ◇文化観光課の新設

↓ ↓ ↓ ↓ ↓

様々な事態に備える地域のきずなや顔の見える関係を築く

提出議案37件を可決

★平成23年度補正予算案7件、平成24年度当初予算案11件、条例案19件の合計37議案を、市長提出議案のとおり可決

◆副市長及び草加市教育委員会教育長の給与の特例に関する条例の制定について
市長報酬(20%)退職金(50%)の減額は、すでに平成23年4月から実施されていますが、市の財政状況等鑑み、平成24年4月から、副市長(10%)・教育長(5%)の給料月額が減額されます。

◆草加市こども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
【通院】

現行：満6歳に達する日以降の最初の3月31日まで(小学校就学前まで)

改正：満15歳に達する日以降の最初の3月31日まで(中学校修了まで)

◇平成24年11月分から通院分に係る医療費の無料化が拡充されます。

◆草加市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

第5次草加市介護保険事業計画の策定に伴い、介護保険料率が改定されます。

【保険料】

現行：42,480円(月額:3,540円)→改定：51,600円(月額:4,300円)

◇保険料所得段階を8段階へと見直し、低所得者の方の負担軽減も実施します。

市政報告



草加市議会議員

関

せき
かずゆき

一幸



<http://www.wan-happy.jp>

給食食材の放射性物質検査について

☆平成24年5月（予定）から、給食食材の放射性物質検査を開始
 ☆厚生労働省が示した新基準 1kg 当たり 100 ベクレルの
 半分 50 ベクレルを草加市の基準値に設定

★検査の概要★

[対象施設] 小・中学校 32 校、保育園 31 園（公立・民間含む）

合計：63 施設

[検査機器] 測定機器：4 台（検出下限値：10 ベクレル）

[基準値] 食品 1kg 当たり放射性セシウム 50 ベクレル

[検査方法] 事後検査・調理済み給食 1 食をまるごと検体

[検査頻度] 各施設 1 週間 1 回程度

（※必要に応じ、検体の追加・変更）

★基準値超過時の対応★

- ・追跡調査を実施し、原因食材を特定後、使用を中止
- ・安全が確認できれば使用再開



「つよいまち・草加」の実現に向けて

○災害という突然の危機 ○少子高齢化など既に直面している危機



2 つの危機に対応できる「つよいまち」を構築

「つよい市役所・つよい結束力・つよい財政力」・・・3 つの要素を備え、予想される様々な困難に立ち向かえる「つよいまち・草加」を実現し、市民生活を支える基盤の確立を目指します。草加市では、誰もが安心してらせるまちづくりを推進し、希望の持てる、明るい草加の未来を築くため、平成24年度から様々な事業が実施されます。

代表して、①医療の安心、②防災の充実、③次世代の育成、④市民の交流の4項目を次項へ掲載します。

①医療の安心

心臓・脳血管センター



① 救急医療体制の充実・・・

◇心臓・脳血管センター開設

平成24年4月1日～（市立病院に隣接）

1 階◇子ども急病夜間クリニック開設

◇救急ステーション

2 階◇心疾患集中治療室（心筋梗塞等）8 床

3 階◇脳血管障害集中治療室（脳卒中等）12 床

4 階◇透析センター 40 床

5 階◇研修施設・院内保育施設

◇医療環境のさらなる充実（市立病院）

診療科目 18⇒24 科目・病床 366⇒380 床

②防災の充実

消防署谷塚ステーション



② 消防署谷塚ステーション開設

◆草加市南部地域の消防力の強化と、

「6 分消防体制」が市域 90% 以上に拡大

◆21 名の職員を配置。

消防ポンプ自動車 1 台、高規格救急自動車 1 台を配置。

◆消防ポンプ自動車 1 台（草加市消防団第一分団第二部）配置。

※「6 分消防体制」とは・・・火災は 6 分を経過すると延焼率が急に高くなること、また、救命率も 6 分を経過すると低くなることから、災害出動から 6 分以内に現場に到着し、消防・救急活動ができるようすること。

③次世代の育成

耐震補強工事の様子



③ 子どもたちが健やかに育ち、安心して学べる環境を充実

◇こども医療費無料化の拡充（平成24年11月～）

通院分に係るこども医療費を、中学3年生修了まで無料化

◇保育園児（3歳児以上）の主食無料化

公立・私立保育園とも、市の負担により主食を提供・支援

◇市内小・中学校の校舎・屋内運動場の

耐震化率 100% 達成

平成24年度中に、耐震補強工事を完了

◇トイレ環境改善整備事業

老朽化した施設の点検・改善を進め、快適な教育環境を確保

◇子ども教育連携推進室を設置

幼・保・小・中 11 年間の連携強化を図り、「生きる力」を育成

④市民の交流

④ 地域のきずなや

顔の見える関係の構築を図る

◎（仮称）谷塚西文化センター建設工事着手

◎買い物ボランティアの段階的試行（平成24年7月～予定）

◎公認グラウンド・ゴルフ場の設置（平成24年秋頃予定）

